

# 自然観察会だより

NO. 34

2012/1/28

西三河自然観察会

写真協力:判家さん竹内さん 報告:松山

## 「茶臼山展望台から御岳、アルプスを眺めよう」 曇り後小雨 気温 3℃ 参加 22 名

まずは道路沿いのシダ観察からスタート。冬は花が少ないので、シダを見て楽しむのがここ数年の私の行動パターン。お正月のお飾りに使う葉裏が白いウラジロとコシダや、山のふもとでよく見かけるフモトシダなど判りやすいでしょ！



シダもわかると楽しいよ



まず咲くマンサク



カゴノキの樹皮



ムラサキシキブ



クロバイ

マンサクのつぼみがふくらんで、黄色の花びらが開きかけ。皆で望遠鏡でのぞいてワーワーすごい、咲くのが楽しみ。神社脇の太いまだら模様の木に、「子鹿の木」？の看板が、確かにそのほうが覚えやすいかもね。山の木々には、まだまだ実が沢山。今年は極端に里に鳥が少なく、誰と話しても「鳥がいなーい」。実が多いのはそのせいかな～？



アオハダ



シャシャンボ



マルバアオダモ

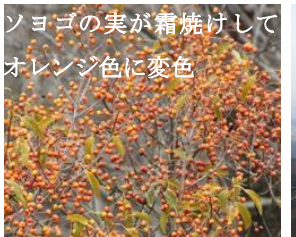


ネジキ



クサギ

クロバイの変わった実を初めて間近で見れてちと感動。アオハダの赤い実がとても豪華できれいです。尾根にでるとシャシャンボの実が食べてくださいと呼んでいたのが、皆でバクバク食べまくり、すっぱ旨くてなかなかの美味と好評。マルバアオダモの実を投げて、くるくる回ると喜んだり、ネジキの真っ赤な冬芽に見とれたり結構遊べます。



ソゴの実が霜焼けしてオレンジ色に変色



残念くもり 来年は晴らすぞー



大人の遠足の面々



フユイチゴ



ヤブツバキ

展望台からの眺めは、あいにくのお天気で御岳はおろか、八面山も霞んで見えないうらやまですが、高い所は気分上々。大人の遠足の記念撮影して、山の裏側へ下っていくと、コナラやアベマキの大木が林立するかなり自然度の深い谷すじ。



サカキの大木



ヌリトラノオ



裏面のソーラス



林道脇の石塔



裏面の弘化四年



フユノハナワラビ

太く株立ちし茶色に輝く樹皮は何と榊の大木で、西尾市天然記念物級。林道に出ると、土手でヌリトラノオを発見！中軸の色が艶々の漆塗りの様で、全体の形が虎の尾、すごく綺麗なシダで今日一番の収穫。道路脇に突然不思議な石塔があり、皆で眺め回すが、手がかりは「弘化四年」の文字のみで判らずじまい。幕末の元号で1847年、何でしょうね。加賀恭一郎ならこの謎、解けるかな～？

### 見つけたシダ

フユノハナワラビ、カニサ、コシダ、ウラジロ、キジノシダ、ホシソウ、コノノシカグマ、フモトシダ、イモトウ、シガシガ、ヌリトラノオ、オハヤシヤブシ、ベニシダ、イト、ノキソウ、ミデウラボシ 16種 **真面目に探せばもっと有ったはず 冬はシダ見が面白いよ～**

### 暖帯性樹木

クチナシ、クロバイ、ヤブツバキ、モッコク、タブキ、カゴノキ、ヤマモモ、ツブラジイ

### 目だった実

ムラサキシキブ、クサギ、クロバイ、マルバアオダモ、シャシャンボ、ソゴ、アオハダ、フユイチゴ、オハヤシヤブシ

### 咲いていた花

ヤブツバキ

**今年の初花 何たって学名カメリア・ジャポニカ 日本を代表する樹木の一つ**

### 気づいた鳥

キジバト、ヒヨドリ、ハシホソガラ、トビ、ヤマガラ、ウグイス、エガ、メジロ、コケラ、カラビリ、ツグミ 11種

とにかくこの冬はどこに行っても鳥が少ない… そんな中で今日みたツグミの群れ 30羽は貴鳥

次回の予定 2月25日(土)9時 オオタカとトモエガモを見つけよう

真面目に鳥を探して楽しめます、目標40種！